

2024年3月26日

## 通貨ニュース

# トルコ:3月金融政策決定会合～選挙直前の追加利上げは異例～

トルコ中央銀行(CBRT)は3月21日の金融政策決定会合で、+500bpの利上げを実施し、政策金利を50.00%に引き上げた(図表1)。ブルームバーグによる事前調査では、21名中で利上げを予想していたのは2名のみで、残りの19名は据え置きを予想していた。サプライズでの利上げを受けて、TRYは対ドルで直後に32.41から31.92まで最大約+1.5%上昇した(図表2)。

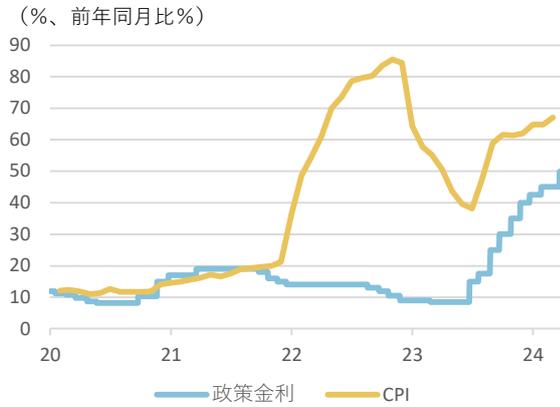
CBRTは2月消費者物価指数(CPI)の想定以上の加速や、堅調な国内の需要を追加利上げの理由として挙げている(図表3)。しかしながら、CBRTは1月会合で金融引き締め局面の終了を宣言し、前回2月会合では実際に政策金利の据え置きを発表していた。

もちろん、CBRTによる追加利上げの可能性は市場で意識されていたものの、3月31日にトルコで地方選挙が実施されることを考慮すれば、選挙への影響を避けるために利上げ再開は選挙後になるという見方が大勢だった。3月21日の金融政策決定会合を前に、「クレジットカードによる現金引き出しと当座貸越の上限金利の引き上げ」、「消費者向け一般目的ローン及び商業用ローンの毎月の増加限度額を引き下げ」など、政策金利引き上げに依らない金融引き締め策が取られていたことも、「3月会合では利上げなし」という見方を強める一因となっていたと考えられる。

CBRTの今回の追加利上げは、「インフレリスクが高まったために制作金利を引き上げる」というオーソドックスな政策運営と評価できる。TRYが政策決定後に上昇したのは妥当な反応であろう。もっとも、3月31日の地方選挙において大都市の市長選で与党・公正発展党(AKP)の候補が負けるようであれば、CBRTに責任を負わせようとする動きが出てこないかが気がかりである。地方選挙で最大の焦点となっているイスタンブール市長選に向けた世論調査では、現職のイマモール氏(最大野党CHPに所属)が与党AKPの候補者を僅差ながら上回っている(図表4)。当面は、地方選挙がTRYの先行きの不確実性を高める要因となっている状況自体には変わりがない。

欧州資金部  
シニア為替ストラテジスト  
中島 将行  
[masayuki.nakajima@mizuhoemea.com](mailto:masayuki.nakajima@mizuhoemea.com)

図表 1: 政策金利とインフレ率



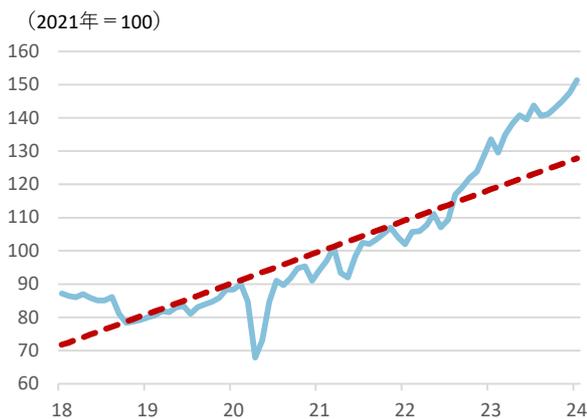
出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: TRY 相場動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 3: 小売売上高の推移



出所: Bloomberg、みずほ銀行

※季節調整・労働日数調整後の数値を使用。点線は2018年1月から2023年5月までのトレンド

図表 4: イスタンブール市長選 世論調査(支持率、%)

	イマモール現市長 共和人民党 (CHP)	ムラト・クルム前環境 都市整備大臣 (AKP)
ORC Arastirma	40.8	40.2
MetroPoll	43.5	40.2
ALF	37.8	36.9
KONDA	38.2	32.2
Artibir	38.2	35.7

出所: 各種報道、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。